

前 季 楊 許 校訂 孫 王 歷 李 安 准
 溪 鸞 聲 凱 興 伏 芸 樵 長 笑 虹 宋 默 藏
 文 西 士 禧 承 禧 一 佛 從 沈
 (M)

「郷土文学」の来し方行く末

11月20日
開催！

中国に近代文学が芽生え始めた「五四新文化運動」の時期に、その立役者となった周氏兄弟（魯迅・周作人）は共に新生国家の理想を「郷土」と文学との関係に見出そうとしました。この「郷土文学」の概念は、1920年代から40年代の民国文学に大きな影響を及ぼしました。さらに「郷土」の概念は日中戦争を経て1949年以降には中華人民共和国の民族政策に関わってきます。そして政治運動の嵐が去った後の1980年代に「郷土文学」は「ルーツ文学」となって再び文化の一大潮流となります。この「郷土文学」の起こりと未来について紹介いたします。

今泉 秀人（大阪大学大学院 人文学研究科 外国学専攻 教授）

専門は中国語圏の近現代文学。具体的には特に大陸中華民国期（1912-1949）の文学作品や作家を中心に調べたり考えたりしています。



会場は大阪大学
箕面キャンパス
です！

【日時】2025年11月20日（木）19:00-20:00

【場所】大阪大学 箕面キャンパス 1F 大講義室

大阪府箕面市船場東3丁目5-10 またはオンライン

【お申込】下記URLまたは右記QRコードから参加登録。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_mh7sWmwaAQ_eirXZTlarvDA

登録時に受信したメールに記載のURLからご参加ください。
※対面参加はお申込み不要です。電話等では受付を行っていません。

【お問合せ】大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013

✉ jinbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp

【参加費】無料

マンスリー 多文化サロン



👉 登録フォームはこちら

主催：大阪大学外国語学部

協力：みのお市民活動センター